JR PROPO
www.jrpropo.co.jp

DMSS 2.4GHz専用

TELEMETRY SENSOR

取扱説明書

TELEMETRY SENSOR SERIES

TLS1-ROT

DMSS DUAL MODULATION SPECTRUM SYSTEM

磁気検出式回転センサー

このたびは、JR製品お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にご使用いただくためにも、取扱説明書を必ずお読みください。

【TLロゴについて】
JRテレメトリーシステムに対応した製品にのみ記載します。

本製品はTLロゴ搭載製品専用です。

特　徴

- 磁気を検知する非接触回転検出方式。
- 強力なサマリウムコバルト磁石を採用。センサ部との距離が離れても回転が検出でき設置が容易。
- センサ部が信号処理部と独立した小型設計。
- 回転検出時の動作確認が可能なLEDを搭載。

構　成

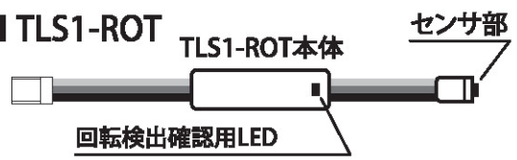
● TLS1-ROT / センサ本体 ● サマリウムコバルト磁石 x 2
● 取扱説明書（本書）

仕　様

品　　番	TLS1-ROT
検出方式	磁気検出方式（ホールIC）
検出範囲	300rpm ～ 40,000rpm
磁石寸法	Φ4mm x 2mm（サマリウムコバルト磁石）
定格電圧	4.8V
動作電圧	4.0V ～ 8.5V

構　成

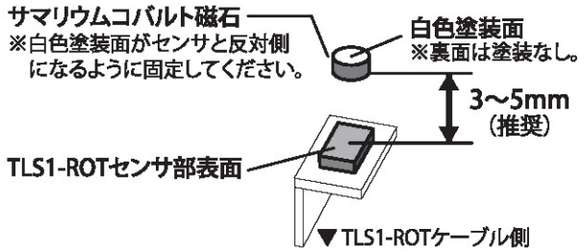
■ TLS1-ROT



※磁石がセンサ上を通過するとLEDが点滅します。

【磁石との推奨距離範囲】 **3～5mm**
※確実な検出を行うため、上記範囲での設置をお勧めします。

■ TLS1-ROT磁石（極性表示付）



安全にご使用いただくために必ずお守りください。

使用者もしくは第三者への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように表示します。

お守りいただく内容を、次の表示で区分し説明します。

⚠	この表示で「注意事項」を説明します。
❗	この表示で「義務事項」を説明します。
⃠	この表示で「禁止事項」を説明します。

⚠ 定格電圧以外で使用すると、回転センサーの誤検出や破損の原因となります。

⚠ 磁石とセンサは確実に固定してください。振動等の影響で、センサと磁石が接触するような場合があると、破損の原因となります。

⚠ センサからのハーネスの固定も確実にしてください。ハーネスが絡まって事故の原因となる可能性があります。

⚠ 飛行中は電池残量に十分注意してください。電池残量が少ないと誤検出する場合があります。

⃠ 機体側に取り付ける磁石は付属のものをご使用ください。

⃠ 分解、改造等をしないこと。

⃠ 水に濡らさないこと。結露の生じる環境では使用しないこと。

❗ 被覆チューブ、リード線やコネクタにキズがついた場合は使用しないこと。

動作確認および注意

① 右図を参考にしてTLS1-ROTを接続します。
② 受信機の電源をONにして TLS1-ROT は通信を開始します。
③ 磁石を取り付けたプロペラあるいはメインギアを手で回してLEDの点灯・消灯を確認します。

LEDが点灯するのはセンサを磁石が通過する一瞬のみです。重なった位置に留めたままでは点灯しません。磁石を取り付けた部分を何度かまわして確認してください。

以上の確認で正常に回転が検出できています。

バインドプラグは必ず抜いてご使用ください。

バインド時にバインドプラグを必要とする受信機の場合、バインド終了後にバインドプラグを抜かなければ、センサとの双方向通信はできません。バインドプラグは必ず抜いてご使用ください。

【ACRO設定での回転表示】

送信機の [TELEMETRY] ファンクションに PROPELLER 設定がある場合、PROPELLER の設定値と磁石の設置数をあわせてください。

● 磁石を1つ接着している場合　→ **PROPELLER : 1**
●● 磁石を2つ装着している場合　→ **PROPELLER : 2**

※磁石を2つ設置する場合はバランスを取るため必ず対になる位置に設置してください。

設　置　方　法

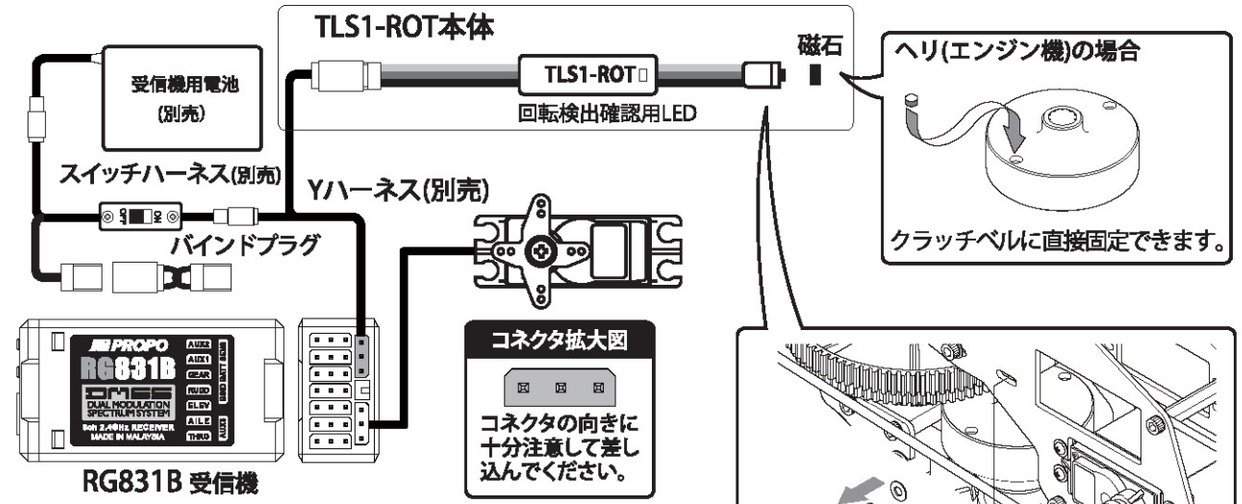
1 磁石を機体側に瞬間接着剤などでしっかりと固定します。
▶ 磁石には極性があります。センサと反対側に白色塗装面がくるように固定してください。
▶ 磁石の固定には十分な硬化時間をおいてください。
▶ ヘリ（エンジン機）の場合はクラッチベルに直接固定可能です。(右下図参照)

2 センサICを磁石付近（推奨距離3mm～5mm）に垂直に固定します。
▶ 振動でずれないようにしっかりと固定してください。

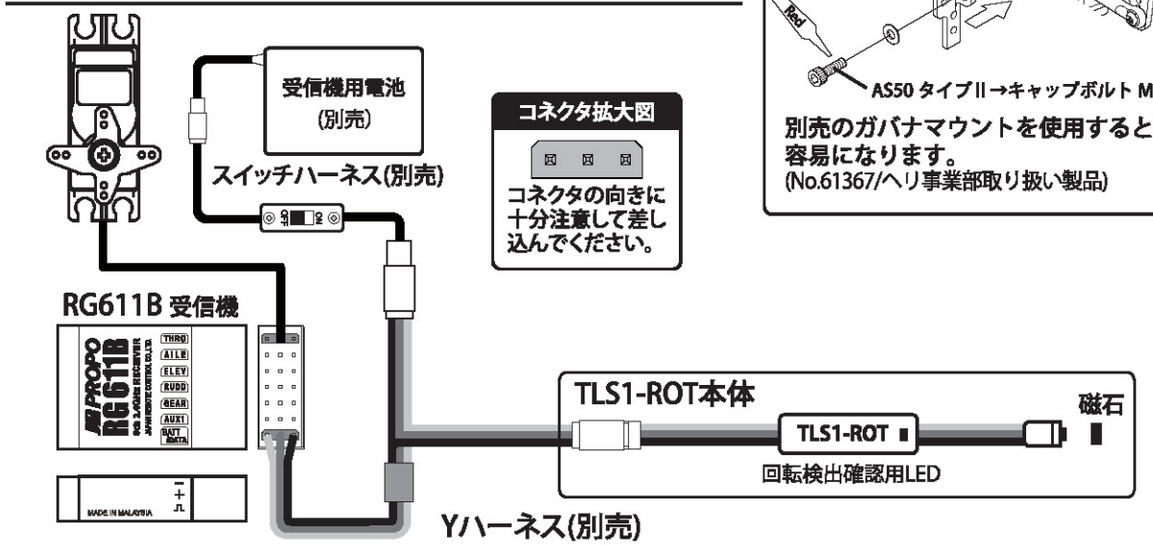
3 TLS1-ROT本体側も機体にしっかり固定してください。
▶ センサICおよび本体のハーネスが回転部分に引っかからないようにしっかりと固定してください。

4 本体固定後にTLS1-ROTからのハーネスを受信機のSENS 端子 (またはDATA 端子)に接続します。
▶ Yハーネスを使用して接続してください。
▶ センサを1種類のみ接続する場合、バッテリーを受信機の空チャンネルに接続することで通信が可能です。センサ本体は必ずSENS 端子 に直接接続してください。

■ RG831Bの接続例 ● BIND/BATT/SENS 端子 に接続してください。



■ RG611Bの例 ●BATT/DATA 端子 に接続してください。



■ 修理、アフターサービスに関するお問い合わせ

【日本遠隔制御株式会社 ラジコンサービス課】
お問い合せ　TEL: 06(6732)0200
受付時間／9:00～13:00・14:00～17:30（土・日・祝日及び当社休日を除く）

日本遠隔制御株式会社
〒577-0809 東大阪市永和2-2-12

NEM-C47A